

基本操作

目次

必要な環境とインストール	2
起動と終了	3
積算の手順	4
物件を開く	5
特記仕様の設定	6
建物概要	7
部材リストの入力	8
躯体数量積算	9
集計表の作成	11
鉄筋定尺表の作成	11
各躯体数量積算の確認表	12
各躯体数量積算の確認表	14

必要な環境とインストール

躯体積算システム 稼動に必要なコンピュータ環境

【ハードウェア（コンピュータ本体）】

Pentium 166MHz 以上の CPU 搭載機種で、
Microsoft Windows 95 以上が稼動可能なパーソナルコンピュータ（Windows 95,98, NT または、Windows 2000、XP が正常に稼動し、動作することが必要条件です。）

【メモリ】

最低 2 4 M B 以上必要（3 2 M B 以上を推奨）
（Windows NT の場合 6 4 M B 以上）

【ハードディスクドライブの空き容量】

約 8 0 M B 以上
（Windows NT の場合 1 0 0 M B 以上）

【C D ドライブ】

インストール時に最低 1 台

【フロッピーディスクドライブ】

インストール時に最低 1 台

【マウス】

Windows で使用可能なマウス

【OS】

ご使用になる本体に対応した
日本語 Microsoft Windows 95,98 または
日本語 Microsoft Windows NT Ver4.05
日本語 Microsoft Windows 2000,XP

【プリンター、プロッター】

Windows で使用可能なプリンタ、プロッタが全て使用可能です。
ただし、使用プリンタに対応した Windows プリンタドライバが必要です。
Windows 発売以前から使用されているプリンタやプロッタをご使用になる場合には、プリンタ、プロッタメーカーにお問い合わせになるとドライバの入手方法や設定方法など親切に教えてもらえます。

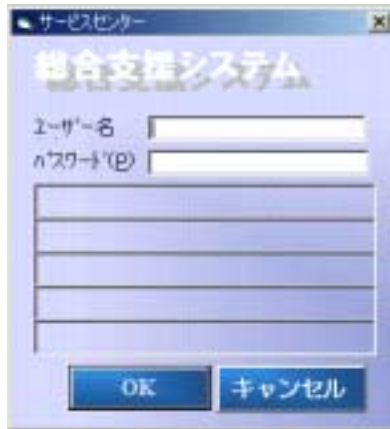
インストール方法

インストール方法は C A T R - 3 D / 2 D のマニュアルを参照してください。

起動と終了

躯体積算システムの起動

1. Windows を起動させます。
2. [スタート] - [プログラム] - [CATRシリーズ] - [総合支援システム] を選択します。
インターネットでキーを取得する場合は次の画面が表示されます。



キャトルよりメールで通知されたユーザー名、パスワードを入力し [OK] をクリックしてください。
インターネットに接続できる環境がないと動作しません。

躯体積算の起動

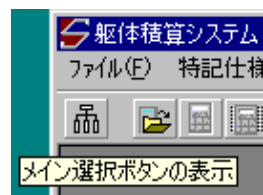
1. メニューから [躯体積算] を選択します。



ソフトのアップデートはこのメニューから自動的に行います。

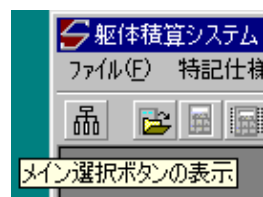
躯体積算からメニューに戻る

1. メイン選択ボタンをクリックします。
2. メインメニューに戻りますので
[3次元C A D]等起動させたいプログラムを選択します。



躯体積算の終了（躯体積算システムの終了）

1. [ファイル] をクリックし、[終了] をクリックします。



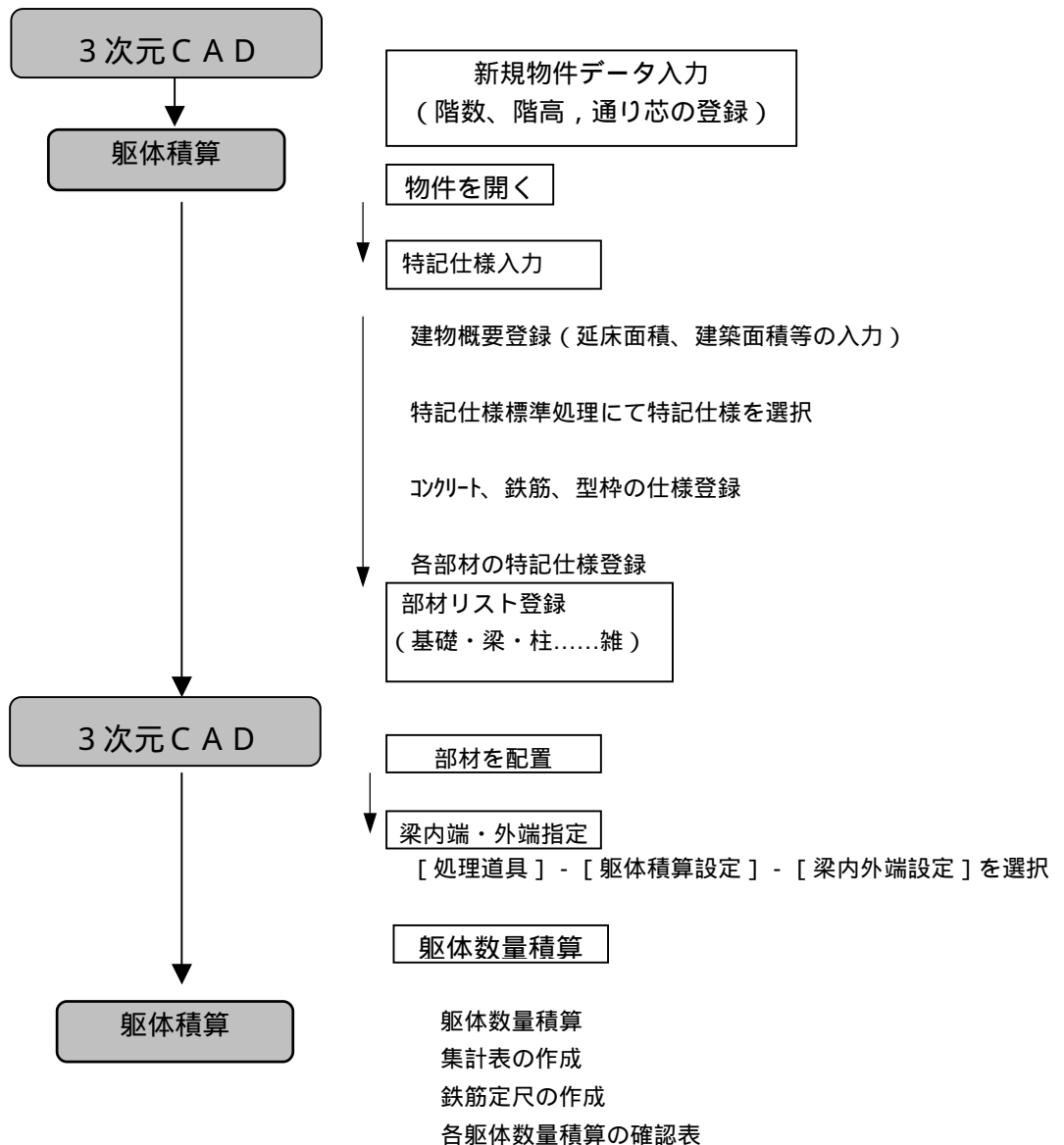
積算の手順

躯体積算システム作業の流れ

このシステムは、メニューから [3次元CAD] と、[躯体積算] の2つのプログラムを連動させて積算作業を行います。

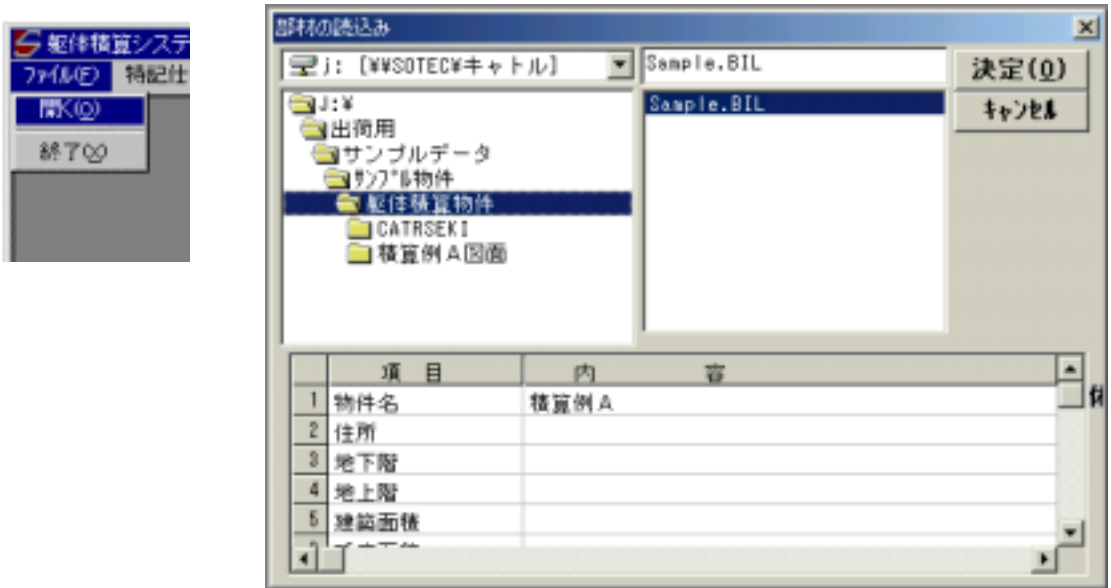
3次元CAD	新規物件登録、各部材を配置して図面の作成
躯体積算	各部材リストの登録、特記仕様の入力、躯体数量積算

1. 積算作業の流れ < 新規物件の場合 >



物件を開く

物件の選択



[ファイル] - [開く] を選択します。

3次元CADで入力した物件のドライブを選択し、フォルダをダブルクリックしていき、物件のフォルダ（ここでは躯体積算物件）を開いてください。

開きたい物件のある場所が表示されていない場合は、上の階層のフォルダをダブルクリックして選択してください。

ファイル名（ここでは Sample . BIL ）がファイル名の下欄に表示されているか確認します。

をクリックすると物件が読み込まれます。

特記仕様の設定

特記仕様標準処理



登録してある特記仕様を読み込んで各仕様を設定したり、独自に設定した仕様を特記仕様として登録する機能です。

ここでは、あらかじめ登録されている「R C構造配筋標準（建設省仕様）」を利用します。

[特記仕様入力] - [特記仕様標準処理] を選択します。

「R C構造配筋標準（建設省仕様）」をクリックします。

実行 ボタンをクリックします。

完了 ボタンをクリックします。

詳しい内容については、

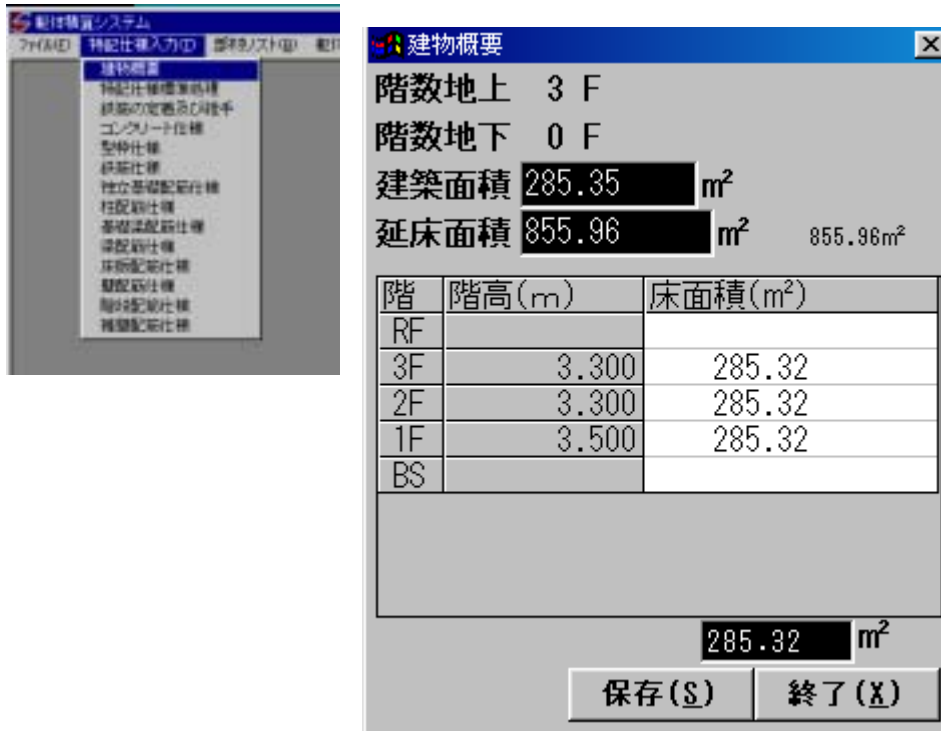
本書 [鉄筋コンクリート構造配筋入力] - [特記仕様標準処理] を参照して下さい。

仕様を標準処理せずに、各仕様毎に入力する場合は、

本書 [鉄筋コンクリート構造配筋入力] - [特記仕様標準処理] を参照して下さい。

建物概要

物件概要の入力



ここでは、建物の建築面積・延べ床面積・床面積の入力をします。このデータは計算/集計での歩掛りに使用されます。必要なければ入力を省いても構いません。

[特記仕様入力] - [建物概要] を選択します。

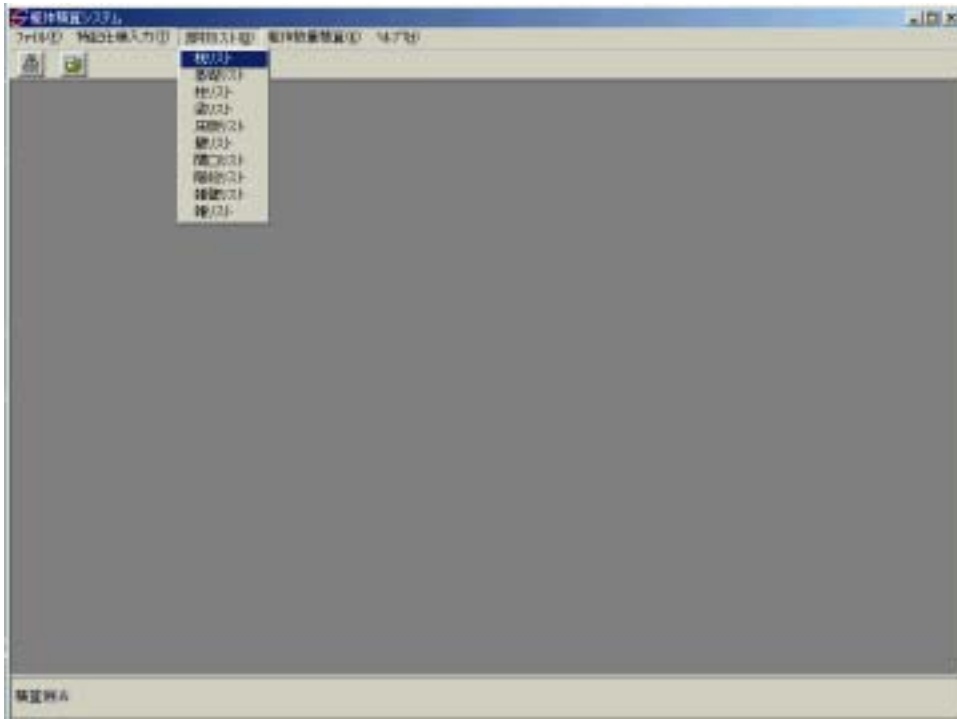
「建築面積」 「延床面積」 「床面積」を入力します。

ボタンをクリックします。

ボタンをクリックします。

部材リストの入力

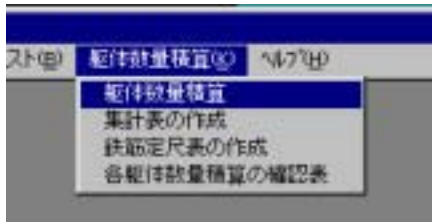
ここでは、各部材の鉄筋仕様・径・本数・ピッチ等を入力します。



入力方法は本書 [部材リスト入力] を参照して下さい。

躯体数量積算

躯体数量積算



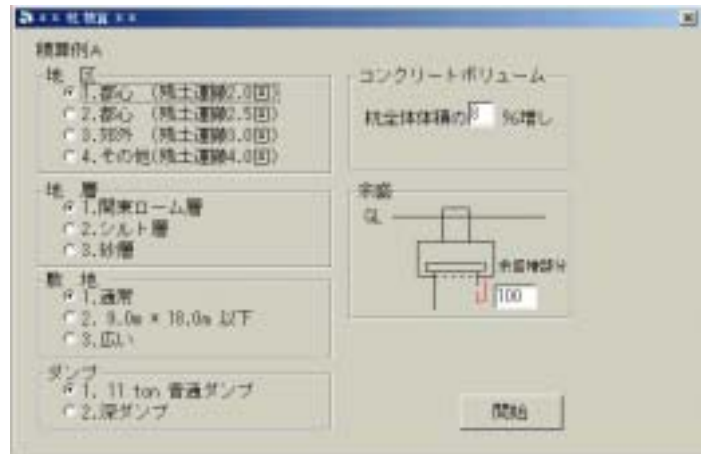
[躯体数量積算] - [躯体数量積算] を選択します。

[全て] 積算する部材を選択します。

開始 をクリックします。

部材毎に計算を開始します。

杭のみこの画面で設定を行って
から開始ボタンを押して下さい。



計算が終わると [計算済] に表示が変わります。

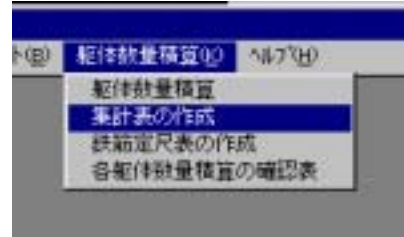
終了 をクリックします。

個別に計算させたい場合は、計算する部材を選択し、計算範囲を指定してから **開始** をクリックして下さい。

一度、計算すると [未計算] から [計算済] に変わります。特記仕様や部材リストを変更した場合、表示は [計算済] になっていますが再度計算して下さい。

集計表の作成

[躯体数量積算] - [集計表の作成] を選択します。



部位別、階別

部位別、階別を開きます。

リスト NO を選択します。

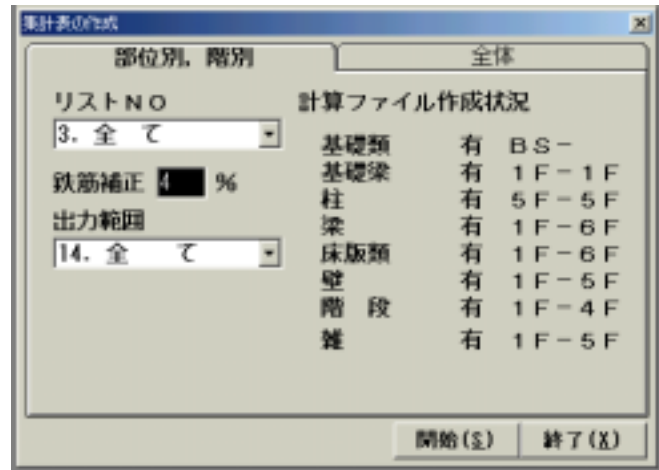


鉄筋補正を入力します。

出力範囲を選択します。

開始 をクリックします。

終了 をクリックします。



全体

全体を開きます。

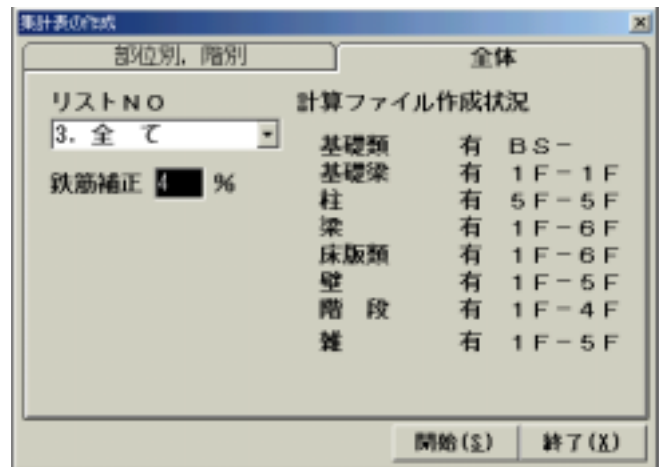


リスト NO を選択します

鉄筋補正を入力します。

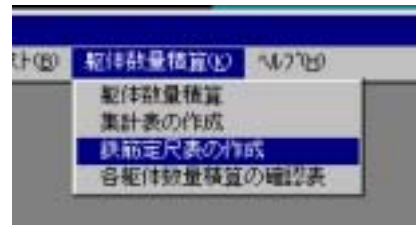
開始 をクリックします。

終了 をクリックします。



鉄筋定尺表の作成

[躯体数量積算] - [鉄筋定尺表の作成] を選択します。



鉄筋定尺リスト

部材リストで設定した鉄筋の仕様・
定尺の最低長・最大長・間隔長を入力
確認します。

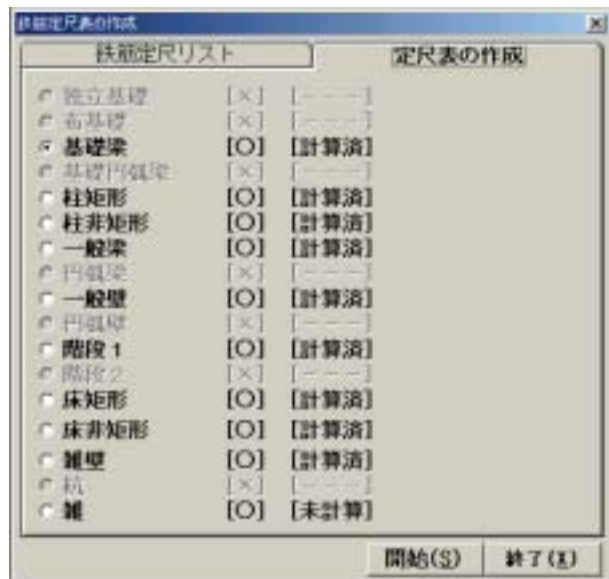
をクリックします。

をクリックします。



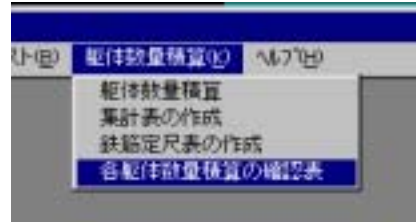
定尺表の作成

1. 定尺を計算させる部材を選択します。
2. をクリックします。
3. 1～2を繰り返して定尺表が必要な部材を
[計算済]にします。
4. をクリックします。



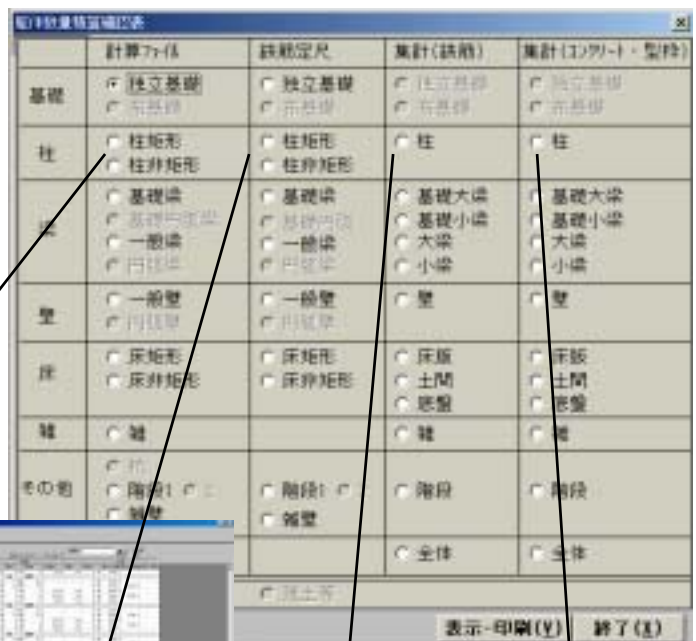
各躯体数量積算の確認表

[躯体数量積算] - [各躯体数量積算の確認表]を選択します。

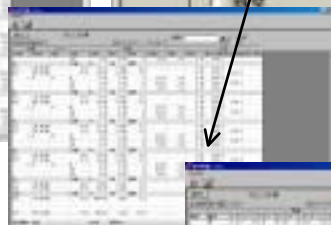


各種表の確認

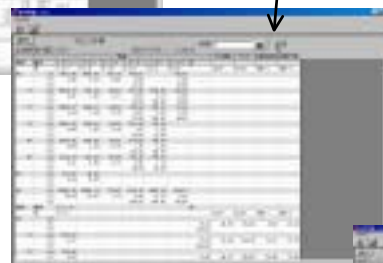
1. 確認及び出力したい表を選択します。
ここでは柱の各種表を確認してみます。
2. **表示**をクリックします。



各種計算結果及び根拠



鉄筋の定尺



仕様別・階別集計表
(鉄筋)




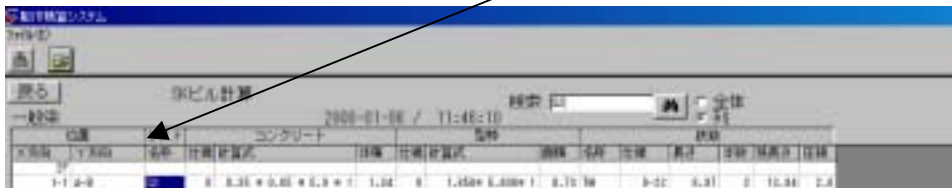
仕様別・階別集計表
(コンクリート・型枠)

計算ファイルの
全体集計のみ、表示サイズをA 4、B 4、A 3から選択することができます。
A 4の場合は部材項目が途中で別ページになりますが、B 4、A 3では1ページに表示され見やすくなっています。

各躯体数量積算の確認表

各種表内での検索

1. 検索対象範囲を全体か列指定か選択し、列の場合はリスト名称等一箇所指定します。
2. 検索文字を入力し、をクリックすると検索され、青色で表示されます。



別の表の表示

1. [戻る] で計算書確認の画面に戻り、表示させたいものを選択してください。

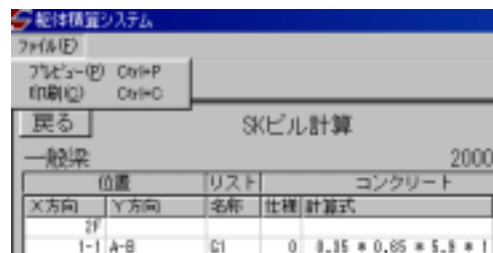
各種表のプレビュー

1. [ファイル] - [プレビュー] を選択します。
2. A 4 横の印刷イメージで表示されます。
3. 次ページ等で表示を変更します。
4. x で画面が戻ります。



各種表の出力

1. [ファイル] - [印刷] を選択します。



2. プリンタの設定をし、をクリックします。